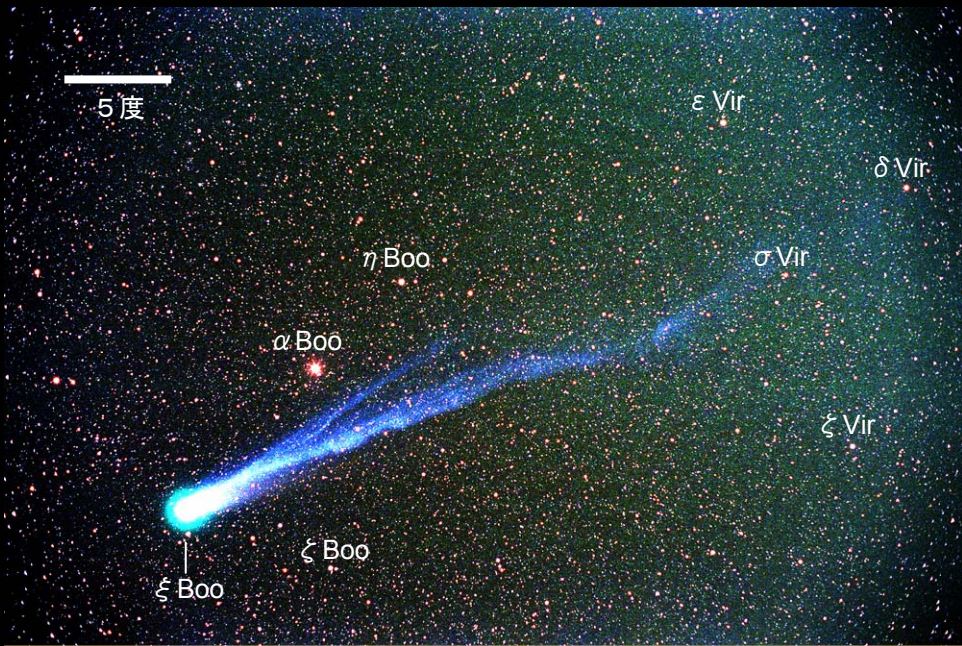


百武彗星 C/1996 B2 の尾の拡がり



Booは「うしかい座」の略称、ちなみに彗星の近くにある明るい α Booは「うしかい座」の1等星「アルクトゥルス」です。Virは「おとめ座」の略称です。 ξ Boo \sim δ Virまで約33度あり、尾の長さがわかります。強調処理をしている為に周辺減光が強く出ていますが、標準レンズで17分も露出できる。南部川村はとても暗い空です。

撮影日 : 1996/03/22
撮影時間 : 26:40-27:57 (17分)
カメラ : PENTAX MX
フィルム : FUJISUPER G800
レンズ : PENTAX 50mmF1.4(2.4)
赤道儀 : 高橋製作所 P-2S 自動ガイド
撮影 : 片山 徹 (和歌山県南部川村にて)

1996年3月22日、撮影ポイントに着くと、最初はしばらく35mmカメラ120mm中望遠レンズで百武彗星を撮影していましたが、撮影の合間に双眼鏡で見る百武彗星の尾はどう見ても中望遠の画角からはみ出しているように思えたので、尾がどこまで広がっているのかという衝動的な疑問から、急きょアルミラックの底から久しぶりに標準レンズを出してきて撮影しました。尾は15度位は核から比較的まっすぐ伸びていますが、それより先っぽは強く曲がって煙突から出た煙が風でたなびいているように見えてしかも濃淡もあります。

